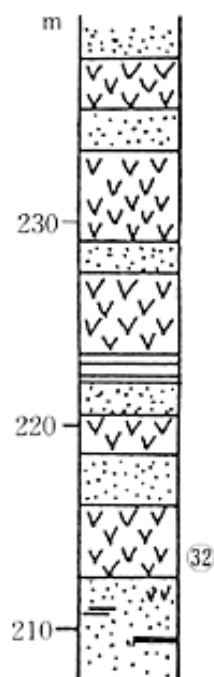


エノキ属 *Celtis* sp.

▲ 発見場所
兵庫区鶴山の柱状図



▲ 葉の根元から主脈が3つに分かれ、
葉の上部ののこぎり葉は丸味をもつ

エノキ属

葉は左右不ぞろいの卵形か少し細長い卵形。葉の先は鋭くとがり、基部はくさび形を円くしたような形である。葉の縁の上半にのこぎり葉があり、比較的丸味をもつ形である。下の方にはのこぎり葉は見られない。葉脈は基部で主脈が3つに分かれ、中央の脈はさらに2～3対の2次脈をだす。

白川累層上部から産出するが少ない。

現生のエノキ属は北半球の温帯から熱帯に約70種が分布し、日本にもエノキの木があり、落葉するが、熱帯や亜熱帯のものには落葉しない常緑のものがある。

(ニレ科 エノキ属 *Celtis* L.)